

子供たちが手刈りに挑戦

本JAは9月24日、今年3回目となる「JA古川アグリキッズスクール」を大崎市古川の佐藤俊光さんが所有する2㍓の圃場(ほしよ)で開きました。この日は、管内の小学2〜6年生12人が参加し、手刈りによる稲刈りを体験しました。

刈り取りしたのは、5月に参加者が自ら植えた「ひとめぼれ」。佐藤さんから鎌の使い方など、稲刈りの手ほどきを受けた参加者は秋晴れの絶好の稲刈りよりの下、黄金色に色づいた稲を鎌で上手に刈り取りました。刈り取った稲は5〜8株程度にまとめてひもで縛り、杭に「棒がけ」をしました。

参加した中嶋健伸くん(小学6年生)は「手本を見た時は簡単そうだと思っただけど、実際にやってみると大変だった」と話していました。



佐藤さん(左)から刈り取りの説明を受ける参加者

「新米まつり」で管内産米をPR



本JA女性部特製の「ささ結」のおにぎりも大人気!!

大崎市古川地域農業振興協議会は10月16日「新米まつり」をJR古川駅前広場で開きました。

開会セレモニーでは伊藤大崎市長と同協議会の会長を務める佐々木組合長が、ささ結の新米で作った握り鮭を食べ、管内産の米の安全とおいしさをPR。また、ささ結と仙台牛を使用した限定100食の握り寿司が振る舞われたほか、本JA管内産の大豆「きめさやか」を使った「ひとつ上の豆乳」の試飲会などを行いました。

また、本JA女性部員手作りの「ささ結」のおにぎり1000個やJA古川管内産小麦を使用した「古川美味うどん」を堪能しようとして、会場には長蛇の列ができました。

年金相談会に14人が来場

本JAは10月16日、本店で年金相談会を開き、年金受給額や手続などの相談に14人が訪れました。

年金手帳などを手に訪れた相談者は「年金をもらいながら働くにはどうしたらよいのか」「受給手続はどうやればよいのか」などを相談。社会保険労務士の東和美さんが相談者の質問に丁寧に答えました。

担当者は「支店の窓口でも随時相談に応じていますので、疑問に思うことがあればお気軽にご相談に来て下さい」と呼びかけました。



年金の受給手続を説明する東さん(右)